

型枠支保工の設計計算

プログラム価格
¥163,000

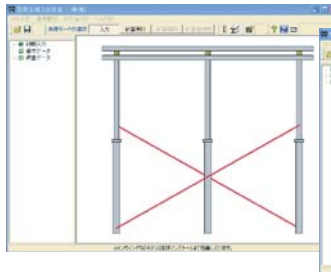
足場・型枠支保工設計指針準拠した型枠支保工の設計計算プログラム

Windows Vista/7/8/10 対応
電子納品

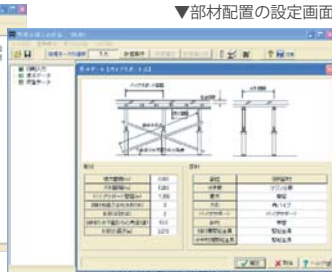
「足場・型枠支保工設計指針」(社)仮設工業会に準拠し、配置間隔、使用部材、荷重などの設計条件により、型枠支保工の部材に生じる支持力、曲げ・せん断応力、たわみなどを計算して、許容値に対する検討を行うことができます。

- 形式：パイプサポート式、軽量支保ばり式、枠組み式、くさび緊結式、パイプサポート式と枠組み式の組み合わせ
- 部材は部材データベースから選択、形状寸法、断面性能、規格を入力可能
- 部材データベース：せき板、根太、大引、建枠、軽量支保ばり等の部材ごとに登録、ユーザーごと、プロジェクトごとの管理可能
- 荷重の算定：コンクリート厚、仮設荷重等を設定し鉛直、水平荷重を算定
- 支保工部材の検討：せき板、根太、大引の応力度・たわみ量を照査
- 支柱、斜材、緊結金具の照査：部材に作用する軸力を算出し、耐力と比較照査
- 座屈に対する照査：斜材、梁のせき板など軸力がかかる部材について照査

▼パイプサポート



▼部材配置の設定画面



耐候性大型土のうの設計計算 Ver.2

プログラム価格
¥173,000

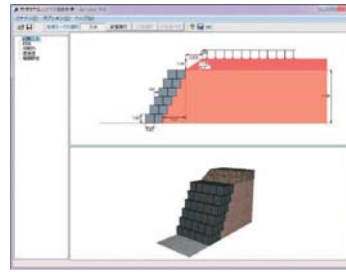
耐候性大型土のうを用いた積層工法の設計計算プログラム

Windows Vista/7/8/10 対応
電子納品 3D PDF
体験セミナー

「足場・型枠支保工設計指針」(社)仮設工業会に準拠し、配置間隔、使用部材、荷重などの設計条件により、型枠支保工の部材に生じる支持力、曲げ・せん断応力、たわみなどを計算して、許容値に対する検討を行うことができます。

- 仮設土留め工：背面側がのり面や斜面で、前面側が何も無い場所での積層
- 仮締切工：背面側に何も無く、前面側に水を湛えている場所での積層
- 仮護岸工：背面側が斜面や盛土で、前面側に水を湛えている場所での積層
- 災害復旧工：条件により「土留め・護岸型」と考えられる場合は検討可能
- 内的安定（袋体の耐力照査）、外的安定（滑動、転倒、支持力の照査）
- 全体安定（円弧すべり）データから、「斜面の安定計算」でより詳細な検討が可能
- 背面水位の考慮をサポート、試行くさび法による土圧計算・静水圧の計算、全体安定（円弧すべり）の計算にも対応
- 危険水位の算出、安全勾配の算出が可能

▼メイン画面



▼全体安定の検討条件入力



ライナープレートの設計計算 Ver.4

プログラム価格
¥157,000

ライナープレート立坑の設計計算プログラム

Windows Vista/7/8/10 対応
電子納品 3D PDF

ライナープレート設計・施工マニュアルに基づき、ライナープレート立坑の設計を行うプログラムです。立坑断面の大きさ、地盤条件等の入力で、ライナープレート立坑の設計計算を行うことができます。円形、小判形、矩形断面に対応しています。

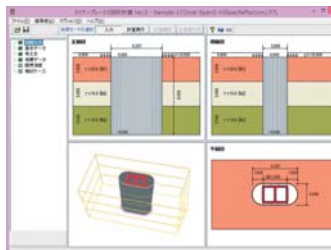
- 土圧の算定：静止土圧、ランキン土圧、テルツァギ土圧、地下水位の考慮に対応
- 土圧を考慮しない地層条件対応
- 座屈に対する照査：円形、小判形断面（半円部）の座屈を照査
- 応力に対する照査：ライナープレート、補強リングの応力度を照査、矩形断面は補強リングの継手の設計も対応
- 支保工部材の検討（小判形・短形）：縦梁、腹起し、切梁の応力度を照査
- 別製品 深礎フレームとデータ連携が可能
- 設計区間を複数入力し、全区間の立坑横断面の設計が可能
- 主な用途：推進工法の発進・到達立坑、深礎工法、集水井の構築による立坑など

Ver.4 改訂内容

2016年1月27日リリース

1. 遠心力吹付け工法対応、補強リングピッチ
2. 継手ボルト孔径の任意設定対応
3. 設計要領 第二集のモルタルライニング、吹付コンクリートによる土留構造対応

▼メイン画面



▼初期入力



クライミングクレーンの設計計算

プログラム価格
¥254,000

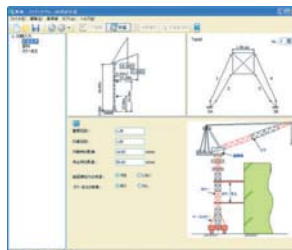
タワークレーンの設計計算プログラム

Windows Vista/7/8/10 対応
電子納品

クライミングクレーンの設計計算を行うプログラムです。応力照査を行う部位は、タワー、タワー支え、ベース、ベースステーです。ジブ（ブーム）、旋回体などは、荷重としてタワー天端に作用させます。

- 対象クレーン：タワークライミング方式、フロアクライミング方式
- ジブ形式：起伏ジブ式、水平ジブ式
- 基本荷重ケース：各クレーンの状態で、風・地震の有無により、12ケースを想定
- 組合せ荷重ケース：各組合せ荷重ケースでの、各部位の断面力を2次元フレーム解析で得られ、応力照査を実施
- タワー天端以上は、ジブ（ブーム）と旋回体にまとめ、重量・重心位置を入力
- 旋回慣性力の考慮する・しない、タワー支え、ベースステーの有無の選択可能
- クライミングクレーンの構成部材はデータベースで管理
- タワー支えは、複数段、複数タイプの設定が可能
- 各モデル（タワーモデル、タワー支えモデル、ベースモデル）のフレーム解析結果（変位、反力、断面力）をビジュアル表示
- 部材の詳細応力照査結果の印刷、ファイル出力が可能

▼メイン画面



▼タワー天端以上（ジブ）のデータ

